

社会貢献と利益追求は矛盾しない

大里綜合管理株式会社

企業概要

設立：昭和50年（1975年）
所在地：千葉県大網白里町
事業内容：不動産管理業
従業員数：30人
（男性10人、女性20人）



取組のきっかけ

- 創業者の母親から会社を継いだが、まねをしているだけでは意味がないため、社会貢献を理想に掲げ取組を行うこととした。
- 小規模経営だからこそ社員と地主が触れ合え、地域活動を会社の特色として会社の信頼を得ることが可能となるため。

取組状況

- 社屋での学童保育は、15年以上実施し、児童らは職場で放課後を過ごす。児童らは料理を作り、作った料理を同社社員に販売するなど生きた社会経験をする場になっている。
- 子供の具合が悪い時や授業参観日で帰らなければならないときは、互いに協力して業務分担。必要な場合は、子供をつれての出勤が可能であり、社員が交代で面倒を見る。
- コンサート、野菜づくり、道のゴミ広いなど現在、90をこえる地域貢献活動を行っており、社員一人ひとりが担当を持って行っている。
- 地元大学や福祉施設からのインターンシップ生の受け入れを行い、毎年10名の学生を受け入れている。

社員の声

- （5歳の男の子の母親であるが）いつでも会社に子どもを連れて来れて、ほかの社員の方たちがあたたかくみてくれることがありがたい。

効果と課題

- 学童保育で預かった第1期生の子が、社員として入社した。
- コンサートを聴きに来た人から、注文を受ける。（広告を打つより、コンサートを開いたほうが宣伝効果がある。
- 地域貢献活動通じて、地域と会社がつながるモデルケースを作り出すことできた。